

令和5年度第2回港北高校学校運営協議会 議事録

1 資料

- (1) 令和5年度港北高等学校学校 第2回学校運営協議会次第
- (2) 令和5年度港北高等学校学校運営協議会委員名簿
- (3) 令和5年度学校評価報告書実施結果（中間）
- (4) 令和5年度部活動実績

2 学校からの報告事項

令和5年度学校評価報告書実施結果（中間）について

1 「教育課程 学習指導」

- ・来年度の新3学年選択科目について希望調査を実施したところ、受験に必要となる科目と比較して芸術系の科目履修希望者が極端に少ない結果となった。今後、科目選択の組み合わせの在り方について考えていきたい。
- ・今年度も授業力向上研修会を行っている。11月には研究授業も含めた第3回授業力向上研修会に向け準備している。授業互見週間についてより活性化するための方策を考えている。

2 「生徒指導・支援」

- ・達成状況として、生徒全体に規範意識が概ね浸透してきたことが挙げられる。一方で生活習慣が乱れている生徒も一定数おり、その原因が本人に起因するのか家庭等の背景があるのかを注意して判断していく。
- ・今年度は、SC、SSWと連携して「かながわサポートドック」を実施している。実施に際して注意すべきことは、オンラインによるアンケートであるため、回答について本人の意思に任される点である。回答に隠された生徒の実状についてグループとしても懸念している。この点を課題としつつ、従来の取組と併せて実施していく。
- ・先日は生徒会選挙が実施されたが、その際に Google フォームによって投票を行った。それによって作業時間が大幅に短縮された。来年度以降も Google フォームを活用した生徒会選挙の実施を検討していきたい。
- ・部活動の実績については、水泳部がインターハイに出場したこと、全国総文祭に放送部と書道部が出場したこと、軽音楽部で全国大会2位という成績があったことなどが挙げられる。コロナ禍が収束し大会数が増えていく中、予算の確保が重要な課題である。

3 「進路指導・支援」

- ・現2年生が3年生に進級する際には、新教育課程での入試となる。生徒に対しては、1年生時点で文理選択を行うこと等もあり、様々な説明会の機会を設けている。教員側も新しい入試に向けて備えていく必要がある。本年度は専門学校に関する情報共有のため教員向けに説明会を実施した。また校外模試の結果を共有する説明会も行っている。

4 「地域等との協働」

- ・地域との協働については、1学年で地域貢献デーを実施し、太尾小学校との連携をコロナ禍以前と同様に行った。地域との協働の成果としては、ほかに文化祭で子育て支援拠点どろっぷに出展いただいたことも挙げられる。

5 「学校管理 学校運営」

- ・ホームページ運用に関して、学校説明会の申し込み方法については改善している。その結果、ホームページの更新数は、昨年を超える状況になっている。また、多くの方に説明会に来ていただいたことが成果として挙げられる。
- ・今年度も不祥事防止への取組として、毎月1回予定されている職員会議に付随し、不祥事防止研修会を実施している。具体的には、事例紹介と各事例の検討会、外部講師の招聘による取り組み等である。
- ・業務の可視化、業務内容の整理については、企画会議を中心に実施中である。会議のペーパーレス化は4月時点から推進している。ICTを活用した形でのよりよい方策を検討していきたい。
- ・全県で水曜日と給与支給日についてはノー残業デーとしている。しかし実際には中々実施できていないところが課題である。時間外の業務に関しては衛生委員会でも検討しているが、現実には難しいところがある。1学期、2学期ともに、行事のある時期など、業務が多忙化する期間に残業時間が長くなる傾向がある。

3 意見及び改善策の提案について（委員の方々より）

- ・若い教員が増えることにより、ICTを活用した授業が行われることはよいと思われる。
- ・グループワークなど、アクティブ・ラーニングに関連した取り組みは今後も盛んに実施してほしい。
- ・教員が自分の進路選択等に関して生徒に話をする時間があってもよいのではないか。
- ・Google フォームによる生徒会選挙はよい取組だと思うが、そういった取組を外部に発信する（新聞投書など）ことも検討してよいのではないか。
- ・地域連携に関連して、港北高校はマナーのよい生徒が多く、地域住民から話題にされることも多くある。地域間の交流はぜひ続けてほしい。
- ・太尾小学校との連携については、マーチングバンドと吹奏楽部のコラボ、高校生による演奏指導やジョイントのコンサートなどが実施できればと思っている。
- ・見学した授業については、教員が声を張り上げることなく落ち着いた雰囲気で行われている点が良いと感じた。
- ・新しい教育課程になり、芸術科目を選択する生徒が減っている点について懸念している。
- ・体育祭について、大綱中学校も港北高校同様3色に分かれた応援アトラクションを実施している。港北高校の応援アトラクションはぜひ中学校の生徒にも参考にしてほしい点はあるが、華美な服装や髪型の指導に関しては中学校で参考にする際には注意すべきと考える。
- ・来年度に向けて、行事など様々なことがコロナ禍以前同様にできるようになったため、どこまでコロナ禍以前の実施状況まで戻すかについて、PTA本部でも来年度に向けて見直す点を考えていく。

- ・一般受験の模試が毎月あることから、模試の判定に関わる話題により気持ちが落ちてしまうという生徒もいると聞いている。受験が本格化する中で子どもたちの精神面でのサポートに注意いただきたい。
- ・港北高校のよい点は、穏やかでありつつも青春を燃やす落ち着いた場所としての母校を愛する気持ちをもった卒業生、生徒が多くいることである。
- ・部活動の支援に関しては、今後同窓会として部活動を支援するグループを作成すれば資金援助につなげることができるかもしれないと考えている。
- ・校内の取組の外部発信に関しては、学校紹介動画、授業動画をはじめとして YouTube などを活用した方法が期待できる。